

定例会のあらまし

平成29年9月1日から27日までの27日間の会期で開かれました。新規条例2件、改正条例3件、事件決議2件、専決承認1件、補正予算8件、決算認定10件、諮問3件、請願1件を慎重審議しました。

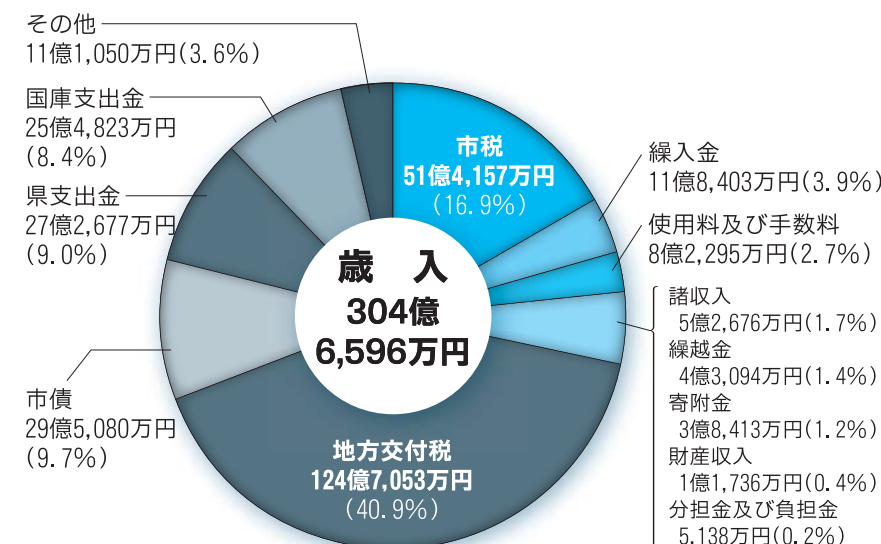
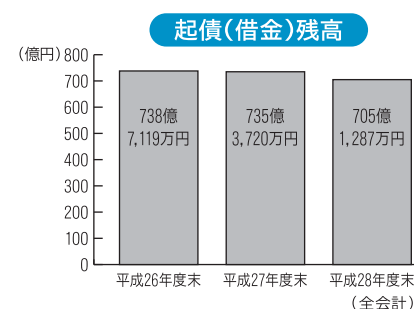
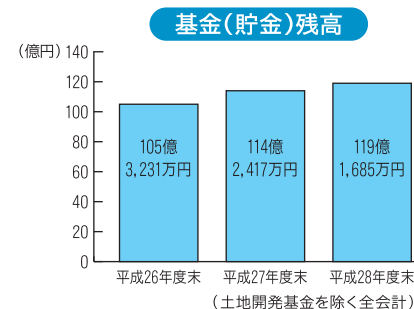
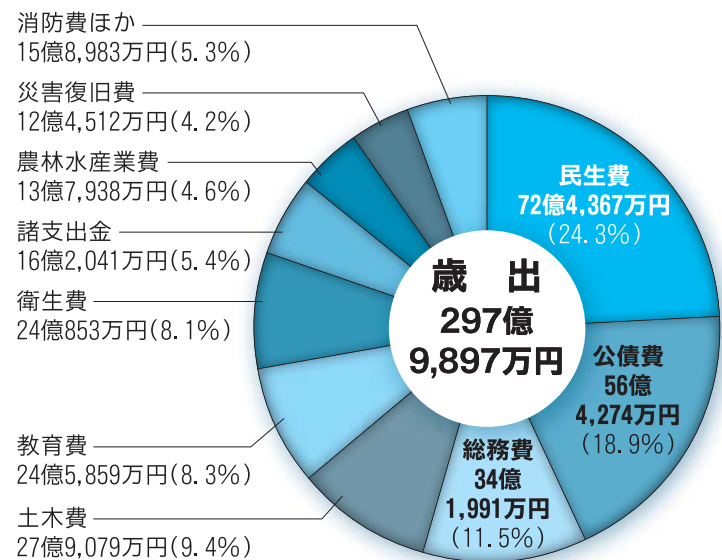
総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会において、重要な議案6件を集中審議しました。また、議長を除いた17人の議員から構成された決算審査特別委員会において、各会計の予算が適切かつ効率的に執行されたか、市政にどう反映されたかなどを検証するため、白熱した議論を5日間にわたり行いました。

一般質問では、1期議員4人を含む13人の議員が9月11日、12日、13日の3日間で市政全般にわたり質問しました。

平成28年度 一般会計決算認定

平成28年度一般会計決算額は、歳入総額は304億6596万円、歳出総額は297億9897万円でした。収支差引額は6億6699万円、翌年度に繰り越すべき財源1億7621万円を差し引いた4億9078万円が実質収支額となり黒字決算です。

しかし、今後も地方交付税や国庫支出金に頼らざるを得ない財政状況に違いはありません。合併による地方交付税一本算定替えの影響が緩和されたとはいえ、地方交付税で4億7696万円の減であり、財政を圧迫する税等の滞納対策の適切な徴収に取り組む必要があります。議会としては、無駄を排した効果加えながら、明日の希望につながる施策を提案していきます。



住民一人当たりになると

■納めた税額

合計	市民税	固定資産税	軽自動車税	たばこ税	入湯税
11万4,123円	4万2,603円 個人所得や会社・団体の収益などに対してかかる税	6万620円 土地・家屋・償却資産に対してかかる税	3,400円 軽自動車・原動機付自転車などにかかる税	7,238円 市内で購入した、たばこに対してかかる税	261円 ホテル・旅館等の温泉の入浴にかかる税

■使った金額

合計	民生費	公債費	総務費	土木費	教育費
66万1,420円	16万781円 医療費の助成など福祉の増進・充実	12万5,247円 借入金の返済	7万5,908円 市有財産の管理や一般的な事務	6万1,945円 道路や河川の新設・改良	5万4,571円 学校教育、社会教育やスポーツ振興
5万3,460円	3万5,967円	3万617円	2万7,637円	1万9,390円	1万5,898円
衛生費	諸支出金	農林水産業費	災害復旧費	消防費	その他
5万3,460円 保健衛生の向上やゴミ・し尿処理	3万5,967円 普通財産の取得や基金の積立て	3万617円 ほ場やため池の整備、畜産や水産の振興	2万7,637円 農地、農業施設や道路などの災害復旧	1万9,390円 消防団、広域消防(救急を含む)などの業務	1万5,898円 商工業や観光の振興、雇用対策、議会運営

※住民一人当たりの金額は、住民基本台帳人口4万5053人(平成29年4月1日現在)から算出。
※2~3ページの数値は、端数処理のため、合計が合わないことがあります。

平成28年度 歳入・歳出決算を認定

一般会計	歳入総額	304億6,596万円
一般会計	歳出総額	297億9,897万円
特別会計	歳入総額	165億8,968万円
特別会計	歳出総額	163億4,806万円

財政分析指標の推移 島内3市の比較

経常収支比率 88.3%
 洲本市93.6% 南あわじ市90.3%
 前年度比+1.7ポイント
 福祉関連支出の増加・普通交付税の合併算定替えによる減収等の影響

実質公債費比率 16.7%
 洲本市13.8% 南あわじ市14.4%
 起債の許可基準18%を初めて下回る!!
 毎年約10億円の繰上償還実施

将来負担比率 200.1%
 洲本市106.5% 南あわじ市141.2%
 前年比8.7ポイント改善
 阪神・淡路大震災にかかる平成28年度末起債残高81億6714万円等のため、高い水準であり、依然として厳しい財政状況